

サステナビリティ

当社は、経営戦略そのものが自社のサステナビリティに直結するCSV経営の実践に取り組んでいます。グループビジョンのゴールは2030年とし、事業を通じた社会価値向上の取り組みを進め、SDGsの達成に貢献することとしています。本統合レポートでは、マテリアリティとして特定する「脱炭素社会・循環型経済の推進」「人的資本への投資」「企業価値向上を支えるコーポレートガバナンスの追求」を中心に報告します。その他のサステナビリティ項目の詳細につきましては当社WEBサイトをご参照ください。

基本的な考え方

当社のグループビジョン「次世代循環型社会をリードするSolution Company」は社員一人ひとりが、会社という器を通して社会に貢献していく姿を文言化しています。当社は、グループビジョン実現につながる行動を明文化した「プリンシプル（行動指針）」を策定し、社員一人ひとりが日々の業務でCSV経営の実践に取り組んでいます。

2023年4月、グループビジョン2030の策定に合わせて、ビジョン実現に向けた成長戦略に紐づく「当社の事業活動を通じて取り組む課題」と従前取り組んできた「CSV経営」を進化させ、マテリアリティを見直しました。新たなマテリアリティは中期計画2025に織り込み非財務目標を設定し、部門目標等と連動させ、毎月進捗を確認しています。

当社のマテリアリティ	
事業活動	脱炭素社会・循環型経済の推進
	社会・ICT インフラ整備の推進
	社会課題解決に向けた新たなサービスや事業の創出
経営基盤	人的資本への投資
	企業価値向上を支えるコーポレートガバナンスの追求

非財務目標の項目	
環境・社会課題	カーボンニュートラル実現に向けたCO ₂ の削減
	社会インフラ整備の推進
	ICTビジネス拡大に伴う循環利用の促進
	気候変動対応の推進
	自然資本を意識した社会貢献活動の推進
人的資本	従業員エンゲージメントの向上
	ダイバーシティの推進

非財務目標における2024年3月期の進捗は ▶P14 へ

マテリアリティ特定プロセス

従来の課題を精査し、「当社における優先度」と「ステークホルダーにとっての優先度」を評価し、さらに、社内外のステークホルダーとのディスカッションを反映する等マッピングの検証を行いました。

成長戦略への影響度、次世代循環型社会に向けたCSV経営の深化、新たな価値創出への挑戦、企業価値基盤の強化を踏まえて5つの最優先課題に集約し、さらにはサステナビリティ・ESGなどへの取り組みを踏まえてマテリアリティとし

て特定し、サステナビリティ委員会で審議、経営会議・取締役会で決定しました。

今後もテーマごとにステークホルダーと意見交換を実施し、定期的にグループビジョンや中期計画と連動した見直しを行っていく他、SDGsへの貢献や社会情勢・市場動向の変化等を考慮し、随時必要な見直しを行っていく予定です。

マテリアリティの見直しについて
<https://www.necap.co.jp/csv/material.html>



サステナビリティ推進体制

当社は、当社グループにおけるサステナビリティの審議機関として、「サステナビリティ委員会」を設置しています。同委員会は代表取締役社長を委員長とし、常勤取締役、関連部門の担当執行役員及び部門長で構成しています。

サステナビリティ委員会は、原則として年2回開催し、サステナビリティに関する方針及び計画の策定、並びにPDCAサイクルの運用状況について議論します。

委員会で議論された結果は経営会議で審議の上、都度取締役会へ報告されるとともに、重要事項については取

締役会で決議を行い、適宜中期計画や事業戦略に反映します。推進体制図は下記のとおりです。

